

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福井工業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクイコウギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中部地方(愛知県を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	企業インターンシップ
	学部・研究科等名	スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
	担当教職員名・役職	担当教員:スポーツ健康科学科 教授 島田 茂、准教授 内藤 景、講師 前川 剛輝
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	12
	受入企業等数	8
要素①	受入企業等名	福井アカデミアホテル 金井学園スイムクラブ・フィットネスクラブ、新田塚コミュニティ(株)、(独)国立スポーツ科学センター、福井ホースパーク
	インターンシップの分類	9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)	
1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)		
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	従来型の就業体験型インターンシップに加え、企業によっては、学生の能力を見ながら、課題を与えるケース、また企業の中でワークショップや問題解決型のインターンシップを実施している。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業インターンシップ(40時間以上)においては、専門教育科目として実施。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前学習については、約10時間にわたり、まず目的や期待する教育的効果の理解を促す為、インターンシップとは何かを学び、学生自身が希望する企業の企業研究やビジネスマナー、社会人基礎力、グループディスカッション、企業先との連絡方法等、多岐にわたり実施。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	毎日、日報等の提出、日々の体験や経験、また課題点の振り返りの実施。また、インターンシップ終了後、報告書作成、成果発表会の資料作成、発表時また発表後には、受入企業や担当者へのフィードバックを行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中に企業に赴き、学生と企業と面談を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの前後で、どのような経験があり、学生自身の中で考え方や行動がどのように変化したかをアンケート、報告書作成、成果発表で確認を行っている。また、ルーブリックを元に、評価がつけられ学生、および教員で共有をしている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	6日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	就業体験40時間(学生のスケジュール等により日数を決定) 事前事後学習が90分×2時限×15回
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	授業時間内にインターンシップが実施される為、実施時間40時間を学生のスケジュール等によって日数を振り分け決定する。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	国内で実施されるインターンシップにおいては、あらかじめプログラムが設計されている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.fukui-ut.ac.jp/syllabus/detail.html?cd=1153
問い合わせ先	大学等名	福井工業大学
	担当部署名	キャリアセンター 就職支援課
	担当者役職名	就職支援課長
	担当者氏名	渡邊 嘉子
	電話番号	0776-29-7868
	メールアドレス	y-watanabe@fukui-ut.ac.jp